

庁内情報の共有に向けて 埼玉県秩父市 都市計画課

1. GISデータの共有化に向けて

部門ごとに異なるGISが導入されており情報共有が進まない

それぞれが異なるGISを導入しており、組織内部の情報共有に弊害

カド・地形図等の共有さえ
一部にとどまる
(古いまま更新されない)

具体的弊害

都決と異なる線形での幹線道路整備が行われ、その後の都市計画変更も行われない、都市公園の中を都市計画道路が通る...など

加えて従来の建設部局以外での
GISデータ活用ニーズの増大

都市計画 (P社)

建築指導
(地元設計事務所構築)

道路管理・整備 (P社の子会社)

固定資産税・森林・上下水道

統計・公有財産管理

政策部局 (空き家・商工)

1. 都市構造可視化計画 & GoogleEarthのメリット

庁内他課へ都市構造可視化計画の紹介

メ リ ッ ト

- ① 都市構造可視化計画ポータルサイトのデータ提供
- ② 導入が容易（無料、航空写真等のメンテナンスフリー）
- ③ 操作感も他のGISより容易で直感的
- ④ 同規模・近隣自治体との比較検討が容易



(H30/11)

11月

情報政策部局に依頼し、GoogleEarth・
QGISをインストールした貸与端末を用意。
GISを体験できる環境の整備。

都市計画マスタープラン・立地適正化
計画庁内向け説明会で都市構造可視化
計画を紹介（H30/11, H31/2）



3月

都市構造可視化計画自治体交流会議
への端末返却後も**3Dマウスを購入し、
今後も継続運用**

2. 位置情報を持ったデータの可視化

所管・他部所の位置情報を持ったデータのGIS化

固定資産税地番図のシェープファイル（秩父市の場合約22万）を基礎として
公有財産・森林地域・農地転用・農振除外等のデータをSHP化（テスト中）

地番図（SHP）

→CSV出力

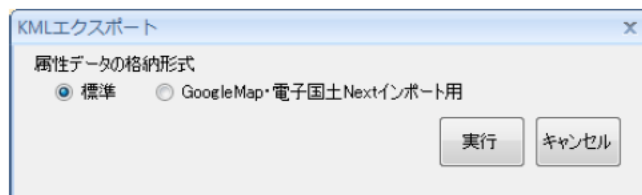
位置情報
を持つCSV

CSV
突合

SHP
変換

KML
変換

当課のGIS（Pascal Web ver.1.3.5）ではシェープ
及び属性情報がkmlでエクスポートでき（**アプリ
ケーションによって異なる模様**）、書き出し後に
Google Earth側で色や透過率等を設定



簡易統合型GISとして活用も可？



緑線は都市計画道路、緑面は都市公園（未決）
シェープをクリックすると属性情報が表示。
（色はプロパティから任意に変更可能）

3. 都市計画の立案での使用

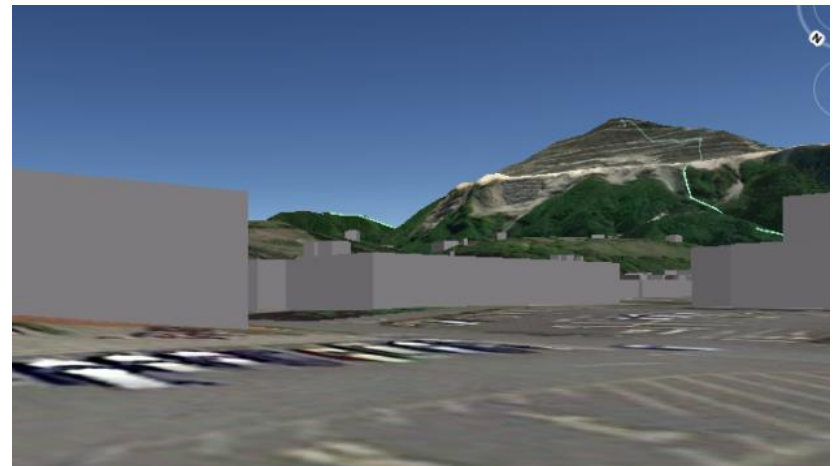
都市計画決定での活用

地区計画の策定（H31/1）・立案にあたり
GoogleEarth・ストリートビューを活用

ストリートビュー



GoogleEarth



高さ制限（31m）のほかに、秩父市のシンボルである
武甲山への景観上の配慮を設定

4. 説明資料としての活用

都市計画審議会での説明資料として活用



秩父市

市内約3,000名に対しアンケートを実施

発送:1月末～(予定)

来年度市内10地区程度で住民懇談会を実施

GIS(QGIS/google earth)を活用した都市構造の可視化)

秩父郡内の人口分布に、駅・バス停からの徒歩圏(500m)を重ねたもの



土砂災害警戒区域×航空写真
(google earth) 黒谷140号沿い

平成31年1月の都市計画審議会では都市計画マスタープラン・立地適正化計画の説明資料として使用

5. 都市マス・立適での位置づけ

都市マス・立適の業務委託仕様書にi-都市再生を追加

平成32年度末公表予定の当市都市計画マスタープラン・立地適正化計画において、成果物はSHPのほか**KMLでの納品を仕様書上追加**



都市マス・立適の成果をGoogleEarthで閲覧可能に

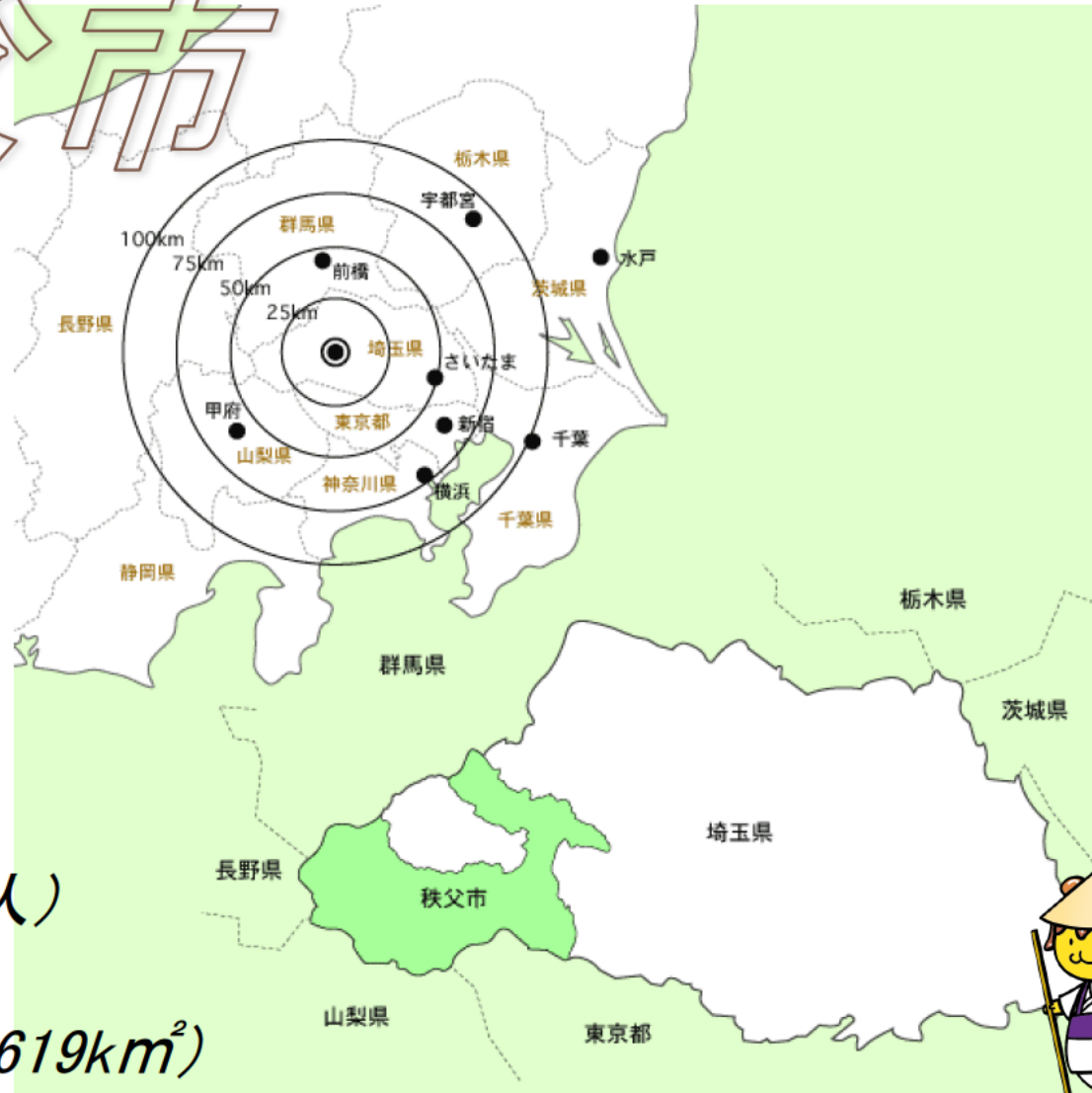
住民広聴・近隣自治体との調整にも活用を期待

導入の容易さ（無料・航空写真更新等のメンテナンスが不要）は大きなメリット
GIS未導入の部署・自治体・市民等でも**ファイルをダブルクリックするだけで自らの環境で再現**できる（都市計画可視化サイトからダウンロードできるデータだけでなく、自ら作ったkmlファイルを自治体のホームページに掲載する、ファイルサーバー上に置いておくなど）

情報の共有・議論の活性化を期待

ただし情報強靱化に伴う標準外アプリケーションのインストールには課題が伴う
当市でも一般職員が利用可能な仮想環境での運用は行っていない。

秩父市



人口6.3万人
(2040:4.5万人)
市域578km²
(東京都区部619km²)

秩父市イメージキャラクター
おてんまん

